

編集後記

第六十二号の『大学院法学研究科論文集』が刊行された。本号には、政治学に関する五本の論文が掲載されている。シーパワー、ナゴルノ・カラバフ紛争、日米同盟の制度化、天皇機関説事件、マイクログレッシュョン、といったテーマに対し、それぞれ、理論的、歴史的、メディア史的、また社会的なアプローチから検証を試みたものである。読者諸氏からの、忌憚ないご意見、ご批判、またアドバイスを頂戴したい。

本誌の投稿資格は、本学大学院法学研究科に在籍する学生に与えられているが、今回は、政治学専攻の学生からの投稿に限られた。修士論文の成果を公にしやすい媒体でもあるため、民事法学、公法学専攻の学生からも、意欲的な投稿を期待したい。

本号の編集にあたり、御尽力くださった慶應義塾大学出版会の堀井健司氏に、厚く御礼申し上げる次第である。

令和四年五月

『大学院法学研究科論文集』担当編集委員 法学部教授 小川原 正道